

学校経営・運営ビジョン			自己点検		学校評価アンケート集計結果								自己評価		自己点検・学校評価アンケートを受けての自己分析及び次年度への改善策			
三本柱	重点目標	具体的重点目標	今年度実施状況	評 価 点								評価点 1:できていない 2:あまりできていない 3:ある程度できている 4:十分できている	総合評価					
				4:よくあてはまる 2:あまりあてはまらない		3:ややあてはまる 1:まったくあてはまらない		生徒(回答数31) 100%		保護者(回答数28) 90.3%(昨年度72.2%)							教職員(回答数10) 100%	
				評価平均	昨年度平均	評価平均	昨年度平均	評価平均	昨年度平均	評価平均	昨年度平均							
1 基礎学力の向上	1-1 基礎学力の養成	・生徒に応じたプリント教材で繰り返し学習させ、基礎基本の知識や技術の定着を図ります。	各教科担当が、生徒の実態に応じた自作のプリント教材を準備しながら授業を実践し、興味・関心を引き出しながら、基礎・基本となる知識や技術の定着を図っている。	3.60	3.39	3.50	8.3%	3.45	3.37	3.13	3	3	次年度も生徒の実態に応じた自作のプリント教材の配付、ICTの活用などを通して、学習する習慣を身に付けさせながら、基礎基本となる知識や技術の定着を図る。 今年度は、のべ12名の生徒が、ビジネス文書実務検定試験を受検した。次年度も、各種検定試験の案内をし、その受検を促していく。					
		・授業の充実と各種の検定試験により実力をつけさせます。	1学期末に行った「授業の理解度調査」では、ほぼすべての生徒が集中して授業に取り組んでいる様子がうかがえる。ビジネス文書実務検定試験には、のべ12名が受検した。	3.52	3.46	3.41	21.4%	3.33	3.33	3.00								
	1-2 少数教育によるきめ細かな授業展開	・クラス分割授業を実施し、教育効果を高める授業を展開します。	生徒の学力を考慮しながら、数学で分割授業を実施している。	3.26	3.08	3.38	14.3%	3.21	3.20	2.80	3	3						
		・チームティーチングの授業を実施し、個別指導を充実させます。	英語は全学年で、数学は3学年でTTを実施している。また、とくに実習をともなう授業においては、学習支援員とのTTを実施し、教育効果を高めるよう工夫している。	3.29	3.29	3.39	17.9%	3.27	3.20	3.00								
	1-3 読書に親しむ態度の育成	・授業やホームルーム活動で、図書館等を活用し、図書に親しませ、読書を奨励します。	授業、LHR等で図書館を活用して、読書に親しませる活動を行った。福島南高校と共有の図書館でもあるので、福島南高校の図書館使いを各クラスに指示した。	3.03	3.36	3.14	25.0%	3.35	2.70	3.10	3	3	夏休み、冬休み前の長期貸し出しを利用する生徒も見られるようになってきた。来年度も読書に親しませる活動を継続していきたい。					
2 社会性の育成	2-1 マナー意識の向上	・清掃の徹底やボランティア体験活動の実施等により、公共心を育てます。	毎週末の清掃活動を実施。生徒会主催のボランティア体験活動を実施。	3.45	3.37	3.46	7.1%	3.42	3.10	3.00	3	3	計画通りに、行事を行うことができた。「公共心」「マナー意識」「思いやりの心」は、どれも授業をはじめとする日常生活のすべての場面で、全教職員で、全体的にまた個別に継続的に指導している。今後も、全教職員でいじめの未然防止に努めたい。					
		・スマートフォン・携帯電話の指導を充実し、場にふさわしい使用マナーを身に付けさせます。	定期考査時の携帯電話の取り扱いや、SNSの危険性を知った上での適切な使用の指導をLHR、安全教室等を通して行った。	3.52	3.66	3.42	7.1%	3.44	3.20	3.30								
		・いじめを防止し、思いやりの心を育てます。	定期的に個々の生徒の情報交換を行った。「いじめ防止アンケート」を実施した。	3.60	3.51	3.42	7.1%	3.48	3.40	3.20								
	2-2 キャリア教育の充実と進路実現	・進路説明会や二者面談により、進路意識の向上を図ります。	6月に4年生を対象とした進路説明会を実施し、就職試験・進学指導に向けた指導を行った。各学年で、学期ごとに面談を実施した。	3.58	3.64	3.60	12.5%	3.52	3.20	3.15	3	3						
		・卒業後の進路希望の実現に向けた、就職・進学指導を充実させます。	進学3名、職安からの求人による就職4名と少人数であったため、担任を中心に個別指導を充実させ、全員が1回の試験で合格・内定した。	3.52	3.60	3.68	10.7%	3.41	3.10	3.20								
		・進路ガイダンス等により、社会的スキルを身に付けさせます。	7月に4年生を対象に、10月には1～3年生を対象に外部講師による進路ガイダンス(ハローワーク就職支援事業)を実施した。	3.65	3.63	3.45	21.4%	3.37	3.70	3.30								
		2-3 就業率の向上	・生徒のアルバイトも含めた就業を奨励し、勤労意識を高めます。	年3回就業調査を実施し、生徒の状況把握を行った。とくに1学期就業者のいなかった1学年で就業率の向上に努めた。	3.55	3.66	3.54	0.0%	3.54	3.60				3.10	3	3	引き続き就業調査を実施して就業状況の把握に努め、就業率の向上を図る。	
	3 健康教育の充実	3-1 コミュニケーション能力の向上	・クラス活動や生徒会活動等を通して、生徒間の交流を図り、生徒のコミュニケーション能力を高め、自信を育てます。	実施計画に基づき、LHR・生徒会活動等を実施。	3.58	3.46	3.38	7.1%	3.36	3.10	2.33	4		3	統合により、行事の精選・見直しが必要である。今後、生徒の実態に応じた行事を企画・立案していきたい。			
3-2 教育相談の充実		・クラス担任等との面談を通して、生徒の学校生活への適応指導を行い、保護者との連携に努めます。	定期的または必要に応じて面談を実施し、その内容を共有している。	3.68	3.54	3.60	10.7%	3.57	3.40	2.90	4		4					
		・スクールカウンセラーとの個別面談を実施します。	1・2・4年生については全員の面接を実施した。また、担任と連携しながらカウンセリングを実施した。	3.65	3.43	3.52	17.9%	3.38	3.90	3.30								
3-3 命や食を大切に する指導の充実		・命や性の大切さや、薬物乱用防止などの教育を充実します。	性に関して課題を抱える生徒には個別に指導を行った。薬物乱用防止教室を12月に実施した。	3.71	3.69	3.65	7.1%	3.46	3.50	3.20	4	4	今後も臨機応変に対応していきたい。					
		・家庭科の学習や食育講座を通して、食の大切さについての理解を高めます。	家庭科や公民科の授業を通して、食の大切さを理解させた。年2回、朝食摂取率調査を実施し、生徒の朝食の実態を把握した。外部講師による「栄養教室」を1～3年生を対象に実施した。	3.71	3.69	3.72	10.7%	3.60	3.60	3.30								
		・給食指導により、栄養バランスのとれた食習慣と食事マナーを身に付けるよう指導します。	新入生オリエンテーションで給食指導を実施した。毎月「給食だより」を配付するとともに、「学校給食ニュース」を活用し、食に関する情報を提供した。	3.61	3.66	3.58	7.1%	3.57	3.40	3.10								
その他	学校は、保護者との連絡や面談等をこまめに行い、家庭との連携・協力に努めていると思いますか				3.43	0.0%	3.30	3.20	3.10									
	学校は、ホームページ・保護者宛文書・『中央高校通信』等により適切に情報発信をしていると思いますか				3.32	0.0%	3.25	3.70	3.10									